

# LAN de VOICE

*Network Telephony Adaptor*

LANdeVOICE4 シリーズ

システム設定ファイルパラメータ集

*A2 co,ltd.*

LdV4-syscnfg.ini-2.1-1802

---

## はじめに

---

本書は、LANdeVOICE4 シリーズのシステム設定ファイル (syscnfg.ini) パラメータ集です。

最新情報は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://www.a-2.co.jp/landevoice/support/parameter.html>

### LANdeVOICE4 シリーズ

- PB402、PB402-SIP
- PT402
- OD402
- SP401、SP401-SIP
- CCS401、UCS401

- 
- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
  - 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
  - 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
  - LANdeVOICE は株式会社エイツの登録商標です。

## 機種別パラメータ目次

---

LANdeVOICE4 シリーズの機種別のシステム設定ファイル(syscnfg.ini)パラメータ目次です。

### CCS401

---

CIRT .....	21
PLUR_SETUP.....	37
UCS_IP.....	48

### OD402

---

ALIVETIMER.....	11
AUTODIAL1、AUTODIAL2.....	14
BLOCK .....	15
CALLCONN.....	17
CCH.....	18
CODER.....	22
DELIM.....	26
DIALSELECT .....	27
DIDPAUSE .....	28
DTMT_TOUT .....	28
ECE .....	29
EMSGID .....	30
LEASELINE.....	32
LLTCH .....	34
PORTGROUP .....	37
RCTTONE .....	39
SCE .....	43

## 機種別パラメータ目次

---

SERVER.....	44
SERVER2.....	45
VOL_IN1、VOL_IN2.....	49
VOL_OUT1、VOL_OUT2 .....	49
WINKPREPAUSE.....	50
WINKPW .....	51
WINKTO.....	51

## PB402

---

ALIVETIMER.....	11
AUTODIAL1、AUTODIAL2 .....	14
BLOCK .....	15
CCH.....	18
CODER.....	22
DELIM.....	26
DIDMODE .....	27
DTMT_TOUT .....	28
ECE .....	29
EMSGID .....	30
LEASELINE.....	32
PORTGROUP .....	37
RVS_BT.....	42
RVS_CON.....	42
RVS_PW .....	43
SCE .....	43
SERVER.....	44
SERVER2.....	45
VOL_IN1、VOL_IN2.....	49
VOL_OUT1、VOL_OUT2 .....	49

## PB402-SIP

---

AUTH_NAME1 .....	12
AUTH_NAME2 .....	12
AUTH_PASS1 .....	12
AUTH_PASS2 .....	13
AUTODIAL1、AUTODIAL2 .....	14
CCH .....	18
DELIM .....	26
DIDMODE .....	27
DTMT_TOUT .....	28
ECE .....	29
EMSGID .....	30
MIN_SE .....	36
PHONE1 .....	36
PHONE2 .....	36
PROXY1 .....	38
PROXY1_PORT .....	38
RB_TIMER .....	38
REGI_EXPIRES .....	39
REGI_RETRY .....	39
REGISTER1 .....	40
REGISTER1_PORT .....	40
RG_TIMER .....	40
RTP_PORT .....	40
RVS_BT .....	42
RVS_CON .....	42
RVS_PW .....	43
SCE .....	43
SE_EXPIRES .....	44
VOL_IN1、VOL_IN2 .....	49
VOL_OUT1、VOL_OUT2 .....	49

## PT402

---

AD_MODE.....	10
ALIVETIMER.....	11
AUTODIAL1、AUTODIAL2.....	14
BLOCK.....	15
CALLCONN.....	17
CCH.....	18
CODER.....	22
CTRING.....	23
DELIM.....	26
DEBTCT.....	26
DIALSELECT.....	27
DTMT_TOUT.....	28
DTTO.....	29
ECE.....	29
EMSGID.....	30
PORTGROUP.....	37
RCTTONE.....	39
SCE.....	43
SERVER.....	44
SERVER2.....	45
VOL_IN1、VOL_IN2.....	49
VOL_OUT1、VOL_OUT2.....	49

## SP401

---

ALIVETIMER.....	11
AUTO_DIAL.....	13
AUTO_SETUP.....	15
BLOCK.....	15
BT_SET.....	16
CCH.....	18

## 機種別パラメータ目次

---

CIN_DIAL .....	19
CIN_SETUP .....	20
CIO_SELECT .....	20
CODER.....	22
CT_DELAY .....	22
CT_SET .....	24
DTMT_TOUT .....	28
ECE .....	29
EMSGID .....	30
INPUT_TYPE .....	31
LEVEL_MODE .....	33
MCH_IP .....	34
MCH_PORT .....	35
MCS_TYPE .....	35
RTY_SETUP .....	41
SCE .....	43
SERVER.....	44
SERVER2.....	45
SIG_CTRL.....	45
TALK_DIAL .....	46
TALK_OFFTIME .....	46
TALK_SETUP .....	47
VOL_IN.....	48
VOL_OUT.....	49
VOL_TONE .....	50

## SP401-SIP

---

AUTH_NAME1 .....	12
AUTH_PASS1 .....	12
AUTO_DIAL .....	13
AUTO_SETUP .....	15
BT_SET .....	16
CCH.....	18
CIN_DIAL .....	19

## 機種別パラメータ目次

---

CIN_SETUP .....	20
CIO_SELECT .....	20
CT_DELAY .....	22
CT_SET .....	24
DTMT_TOUT .....	28
ECE .....	29
EMSGID .....	30
HOLD_MODE .....	30
INPUT_TYPE .....	31
LEVEL_MODE .....	33
MIN_SE .....	36
PHONE1 .....	36
PROXY1 .....	38
PROXY1_PORT .....	38
RB_TIMER .....	38
REGI_EXPIRES .....	39
REGI_RETRY .....	39
REGISTER1 .....	40
REGISTER1_PORT .....	40
RG_TIMER .....	40
RTP_PORT .....	40
RTY_SETUP .....	41
SCE .....	43
SE_EXPIRES .....	44
TALK_DIAL .....	46
TALK_OFFTIME .....	46
TALK_SETUP .....	47
VOL_IN .....	48
VOL_OUT .....	49
VOL_TONE .....	50

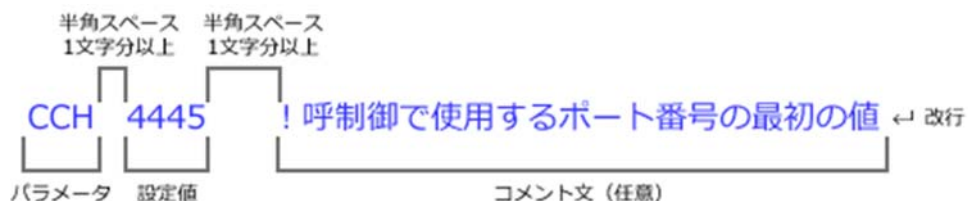


## システム設定ファイルパラメータ

LANdeVOICE4 シリーズのシステム設定ファイル(syscnfg.ini)パラメータです。

### システム設定ファイル (syscnfg.ini) 記述ルール

記述例



- 半角文字で記述します。
- パラメータを記述した場合は、設定値も必ず記述します。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- 1つの設定は1行(改行なし)で記述します。複数行にまたがることは出来ません。
- スペースは1文字分以上の半角スペースを記述します。
- 「！」(半角のエクスクラメーションマーク)を入力すると、「！」に続く文字列はコメント文となり設定に反映されません。コメント文には全角文字も使用可能です。コメント文は改行により終了します。設定に対する補足説明等、設定ファイル内にコメントをメモしたい場合に使用してください。また、行の先頭に「！」を付ければ設定自体を無効にできます。

### 回線説明




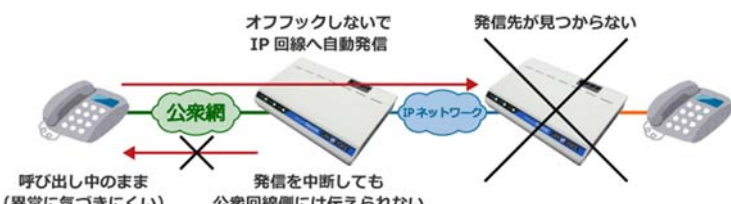

IP 回線:

IP ネットワーク網側の回線

アナログ回線:

LANdeVOICE に接続したアナログ機器(電話機や PBX、公衆網等)側の回線

システム設定ファイルパラメータ

AD_MODE	
対応機種	PT402
説明	<p>PT402 がアナログ回線から着信した際に、IP 回線へ自動発信 (AUTODIAL1、AUTODIAL2) する場合のオフフック設定です。 PT402 がアナログ回線から着信した際に、オフフックしてから IP 回線へ発信するか、オフフックしないで IP 回線へ発信するかの設定になります。</p> <p>※発信先の LANdeVOICE OD トランクモデル端末が PBX (交換機) の OD トランクに接続されている場合は、本パラメータは 0 に設定し、CALLCONN を設定してください。</p>
	<p>0</p> <p>オフフックしないで IP 回線へ発信する</p>  <p>発信先相手が見つからない場合 PT402 は発信を中断するが、アナログ回線側は呼び出し中が継続し (リングバックトーンが聞こえる)、発信先が見つからないことを知ることができない。</p>  <p>※CALLCONN を設定する場合は、本設定にしてください。</p>
	<p>1</p> <p>オフフックをして IP 回線へ発信する</p>  <p>発信先相手が見つからない場合 PT402 はオンフックをし、アナログ回線側は終話状態 (ビジートーンが聞こえる) になる。公衆回線接続時にこのモードを使用すると、発信先に繋がらない場合でも通話料金が発生する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>次ページに続く</p> </div>

## システム設定ファイルパラメータ

設定可能値	0、1	
記述例	AD_MODE 1 (PT402 がアナログ回線から着信した際に、オフフックしてから IP 回線へ発信する)	
出荷時設定	1	
関連パラメータ	AUTODIAL1、AUTODIAL2、CALLCONN	

ALIVETIMER	
対応機種	OD402、PB402、PT402、SP401
説明	呼制御サーバ(SERVER、SERVER2)に、ステータスを通知する間隔を設定します。
	-1 非通知
	0 本パラメータを設定した端末の IP アドレスが、DHCP によって更新された時のみ通知
	1~120 (分) 記述した時間(分)間隔で通知
設定可能値	-1~120 の整数
記述例	ALIVETIMER 3 (3 分間隔で通知する)
出荷時設定	3
関連パラメータ	SERVER、SERVER2

## システム設定ファイルパラメータ

AUTH_NAME1	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	SIP サーバで認証をかけている場合の回線認証用ユーザ名を設定します。 ※SIP サーバによっては、PHONE1 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合もあります。 ※PB402-SIP の場合は ch.1 の回線認証用ユーザ名です。
設定可能値	半角英数字 32 桁まで
記述例	AUTH_NAME1 1937241
出荷時設定	PB402-SIP 1937241
	SP401-SIP 100

AUTH_NAME2	
対応機種	PB402-SIP
説明	SIP サーバで認証をかけている場合の、ch.2 の回線認証用ユーザ名を設定します。 ※SIP サーバによっては、PHONE1 で設定した値と同じ値を設定しなければならない場合もあります。
設定可能値	半角英数字 32 桁まで
記述例	AUTH_NAME2 1937242
出荷時設定	1937242

AUTH_PASS1	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	SIP サーバで認証をかけている場合の回線認証用パスワードを設定します。 ※PB402-SIP の場合は、ch.1 の回線認証用パスワードです。
設定可能値	半角英数字 32 桁まで
記述例	AUTH_PASS1 1937241
出荷時設定	PB402-SIP 1937241
	SP401-SIP 100

## システム設定ファイルパラメータ

AUTH_PASS2	
対応機種	PB402-SIP
説明	SIP サーバで認証をかけている場合の、ch.2 の回線認証用パスワードを設定します。
設定可能値	半角英数字 32 桁まで
記述例	AUTH_PASS2 1937242
出荷時設定	1937242

AUTO_DIAL	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	AUTO_SETUP 及び RTY_SETUP の設定に従って自動発信する番号を設定します。 複数行設定する(5 件まで)ことで、RTY_SETUP 再発信時の発信先を変更することができます。その際は、上に記述した番号から順に発信します。
設定可能値	電話番号 23 桁まで (0~9、#、* が使用可能)
記述例	AUTO_DIAL 100 AUTO_DIAL 200 (AUTO_SETUP の設定に従って電話番号 100 へ自動発信、話中等の際は RTY_SETUP の設定に従って電話番号 200 へ再発信)
出荷時設定	未設定
関連パラメータ	AUTO_SETUP、RTY_SETUP

## システム設定ファイルパラメータ

AUTODIAL1、AUTODIAL2		
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402	
説明	ch.1(AUTODIAL1)または ch.2(AUTODIAL2)について、自動発信する番号を設定します。 自動発信条件は機種により異なります。	
	自動発信条件	
	OD402	ch.1 または ch.2 の着信時、もしくは専用線モード設定(LEASELINE)の場合は起動時。
	PB402	ch.1 または ch.2 に接続された電話機のオフフック時、もしくは専用線モード設定(LEASELINE)の場合は、起動後初めてのオフフック時。
	PB402-SIP	ch.1 または ch.2 に接続された電話機のオフフック時。
	PT402	ch.1 または ch.2 の着信時。
設定可能値	OD402 PB402 PT402	電話番号 31 桁まで (0~9、#、* が使用可能)
	PB402-SIP	電話番号 23 桁まで (0~9、#、* が使用可能)
記述例	AUTODIAL1 100 (ch.1 について、電話番号 100 へ自動発信する)	
出荷時設定	未設定	

## システム設定ファイルパラメータ

AUTO_SETUP				
対応機種	SP401、SP401-SIP			
説明	<p>端末起動時の自動発信の有無、及び有効の場合は通話切断後に自動で再発信を行うまでの間隔を設定します。</p> <p>別途 AUTO_DIAL、CIN_SETUP、TALK_SETUP の設定が必要です。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>自動発信しない。</td> </tr> <tr> <td>1~60 (秒)</td> <td> <p>AUTO_DIAL で設定した番号へ自動発信する。 また、通話を切断した場合は記述した時間(秒)間隔で再発信する。</p> <p>※本設定を使用する場合は、CIN_SETUP、TALK_SETUP の設定を 0 (NONE)にしてください。</p> <p>※自動発信する場合、SP401 (SP401-SIP) 側から切断することはできません。</p> </td> </tr> </table>	0	自動発信しない。	1~60 (秒)
0	自動発信しない。			
1~60 (秒)	<p>AUTO_DIAL で設定した番号へ自動発信する。 また、通話を切断した場合は記述した時間(秒)間隔で再発信する。</p> <p>※本設定を使用する場合は、CIN_SETUP、TALK_SETUP の設定を 0 (NONE)にしてください。</p> <p>※自動発信する場合、SP401 (SP401-SIP) 側から切断することはできません。</p>			
設定可能値	0~60 の整数			
記述例	AUTO_SETUP 10 (端末起動時に自動発信する。通話を切断した場合は 10 秒間隔で再発信する)			
出荷時設定	0			
関連パラメータ	AUTO_DIAL、CIN_SETUP、TALK_SETUP			

BLOCK							
対応機種	OD402、PB402、PT402、SP401						
説明	音声パケットの送出間隔(ミリ秒)を設定します。						
設定可能値	<table border="1"> <tr> <td>30 (ミリ秒)</td> <td>LANdeVOICE4 シリーズ同士</td> </tr> <tr> <td>30、60 (ミリ秒)</td> <td>LANdeVOICE2 及び 3 シリーズと通信する場合、CODER G.711 の場合</td> </tr> <tr> <td>30、60、90 (ミリ秒)</td> <td>CODER G.729A、G.723.1 の場合</td> </tr> </table>	30 (ミリ秒)	LANdeVOICE4 シリーズ同士	30、60 (ミリ秒)	LANdeVOICE2 及び 3 シリーズと通信する場合、CODER G.711 の場合	30、60、90 (ミリ秒)	CODER G.729A、G.723.1 の場合
	30 (ミリ秒)	LANdeVOICE4 シリーズ同士					
	30、60 (ミリ秒)	LANdeVOICE2 及び 3 シリーズと通信する場合、CODER G.711 の場合					
30、60、90 (ミリ秒)	CODER G.729A、G.723.1 の場合						
記述例	BLOCK 30 (音声パケットの送出間隔は 30 ミリ秒)						
出荷時設定	30						

## システム設定ファイルパラメータ

BT_SET		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	<p>放送終了時(終話時)に放送終了音の再生が可能です。 本パラメータで、終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間(秒)、もしくは WAV ファイル(bt.wav)を再生する回数の設定をします。 設定に従って再生した後は待機状態に戻ります。</p> <p>※1 つ目に記述した設定値が終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間、2 つ目に記述した設定値が WAV ファイル(bt.wav)を再生する回数となります。</p>	
	終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間を設定する(1 つ目に記述する設定値)	
	0	<p>終話時に内蔵ビジートーンを再生しない ※WAV ファイルを再生したい場合は、こちらの設定にしてください。</p>
	1~60 (秒)	<p>終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間(秒) ※本設定を指定する場合は、WAV ファイルを再生する回数は省略もしくは 0 にしてください。</p>
	終話時に WAV ファイルを再生する回数を設定する(2 つ目に記述する設定値)	
	省略、0	<p>終話時に WAV ファイル(bt.wav)を再生しない ※内蔵ビジートーンを再生したい場合は、こちらの設定にしてください。</p>
	1~30 (回)	<p>終話時に WAV ファイル(bt.wav)を再生する回数 ※本設定を指定する場合は、内蔵ビジートーンを再生する時間は 0 にしてください。 ※WAV ファイル(bt.wav)を削除した場合、本設定は無効になります。</p>
設定可能値	<p>終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間 : 0~60 の整数</p> <p>終話時に WAV ファイル(bt.wav)を再生する回数 : 省略もしくは 0~30 の整数</p>	
記述例	<p>BT_SET 終話時に内蔵ビジートーンを再生する時間 終話時に WAV ファイル(bt.wav)を再生する回数</p> <p>BT_SET 0 (終話時に何も再生せずに即待機状態)</p> <p>BT_SET 3 (終話時に内蔵ビジートーンを 3 秒再生)</p>	
出荷時設定	<p>0 1 (終話時に WAV ファイル(bt.wav)を 1 回再生)</p> <p>※工場出荷時の bt.wav は「ピンポンパンポン(下がる)」</p>	
備考	<p>WAV ファイルを作成する場合は下記条件となります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名 : bt.wav</li> <li>● 形式 : 8KHz、μlaw</li> </ul> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">次ページに続く</div>	



## システム設定ファイルパラメータ

	● サイズ : 端末 1 台にインストールできる WAV ファイルは合計 4MB まで
--	---

CALLCONN				
対応機種	OD402、PT402			
説明	<p>&lt;前提条件&gt; 発信先の LANdeVOICE OD トランクモデル端末が PBX(交換機)の OD トランクに接続されている場合の設定</p> <p>アナログ回線から着信した際に、IP 回線へ自動発信(AUTODIAL1、AUTODIAL2)する場合のオフフック設定です。</p> <p>アナログ回線から着信した際に、オフフックしてから IP 回線へ発信するか、オフフックしないで IP 回線へ発信するかの設定になります。</p> <p>※PT402 について、発信先の LANdeVOICE 端末が OD トランクモデルではない場合は、本パラメータではなく、AD_MODE を設定してください。</p> <p>※PT402 について、AD_MODE の設定値が 1 の場合は、本パラメータは無効になります。</p>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;">ON</td> <td> <p>オフフックをして IP 回線へ発信する</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OFF</td> <td> <p>オフフックしないで IP 回線へ発信する</p> </td> </tr> </table>	ON	<p>オフフックをして IP 回線へ発信する</p>	OFF
ON	<p>オフフックをして IP 回線へ発信する</p>			
OFF	<p>オフフックしないで IP 回線へ発信する</p>			
設定可能値	ON、OFF			
記述例	CALLCONN OFF (アナログ回線から着信した際に、オフフックしないで IP 回線へ発信する)			
出荷時設定	OFF			
関連パラメータ	AUTODIAL1、AUTODIAL2、PT402 の場合は AD_MODE			

## システム設定ファイルパラメータ

CCH		
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402、SP401※、SP401-SIP※ ※1 回線端末	
説明	呼制御及び音声通話で使用する UDP ポート番号を設定します。 UDP ポート番号は、本パラメータの設定値から合計 6 つの番号を使用します。	
	4445 を 設定した 場合	<呼制御で使用するポート番号> 1 回線目 (ch.1) : 4445 2 回線目 (ch.2) : 4446 (1 回線端末は未使用)  <通話で使用するポート番号> 4447~4450
設定可能値	OD402 PB402 PT402 SP401	1~65530 の整数
	PB402-SIP SP401-SIP	1~65535 の整数
記述例	CCH 4445 (UDP ポート番号は、4445~4450(1 回線の端末は 4446 を除く)を使用する)	
出荷時設定	OD402 PB402 PT402 SP401	4445
	PB402-SIP SP401-SIP	5060
備考	ルーターの IP マスカレードを使用して同一ネットワーク内で複数の LANdeVOICE 製品を使用する場合、使用するポート番号の範囲が重複しないよう設定してください。  <設定例> LANdeVOICE1 台目 : CCH 4445 LANdeVOICE2 台目 : CCH 4451 LANdeVOICE3 台目 : CCH 4457	

## システム設定ファイルパラメータ

CIN_DIAL	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	CIN_SETUP による接点入力発信先電話番号、及び RTY_SETUP の設定に従って再発信する電話番号を設定します。 複数行設定する(5 件まで)ことで、RTY_SETUP 再発信時の発信先を変更することができます。その際は、上に記述した番号から順に発信します。
設定可能値	電話番号 23 桁まで (0~9、#、* が使用可能)
記述例	CIN_DIAL 100 CIN_DIAL 200 (CIN_SETUP による接点入力発信で電話番号 100 へ発信、話中等の際は RTY_SETUP の設定に従って電話番号 200 へ再発信)
出荷時設定	未設定
関連パラメータ	CIN_SETUP、RTY_SETUP

## システム設定ファイルパラメータ

CIN_SETUP		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	<p>接点入力の動作モードを設定します。</p> <p>発信先は CIN_DIAL で設定してください。</p> <p>※自動応答(CT_SET)と併用可能です。1~3 の設定の場合は、自動応答前に接点入力のショートで応答もできます。接点入力でのみ応答したい場合は、CT_SET を無効(-1)にしてください。</p> <p>※本設定に関わらず、通話相手のオンフック検出時は自動切断します。</p>	
	0	<p>接点入力無効(NONE)</p> <p>※AUTO_SETUP を使用する場合は、本設定にしてください。</p>
	1	接点入力をショート(ON)させるたびに発信(応答)、切断を交互に行う(TOGGLE)
	2	接点入力をショート(ON)させると発信(応答)、オープン(OFF)で切断する(MSIG)
	3	<p>接点入力をショート(ON)させると発信(応答)を行う(SWON)</p> <p>※切断はできません。</p>
	4	<p>接点入力をショート(ON)させると切断を行う(HOOK)</p> <p>※発信と応答はできません。</p>
設定可能値	0~4 の整数	
記述例	CIN_SETUP 1 (接点入力をショート(ON)させるたびに発信(応答)、切断を交互に行う)	
出荷時設定	0	
関連パラメータ	CIN_DIAL、CT_SET、AUTO_SETUP	

CIO_SELECT		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	CIN/OUT2(接点入出力端子)を入力と出力のどちらで使うかを設定します。	
	0	出力
	1	入力
設定可能値	0、1	
記述例	CIO_SELECT 1 (CIN/OUT2(接点入出力端子)を接点入力として使用する)	
出荷時設定	1	

## システム設定ファイルパラメータ

CIRT	
対応機種	CCS401
説明	<p>代表電話番号の未使用回線呼び出し機能(複数の回線に同じ電話番号を設定し、その時使用中でない回線を呼び出す機能)の最初の呼び出し先を設定します。</p> <p>※代表電話番号の一齐呼び出し機能(複数の回線に同じ電話番号を設定し、その電話番号の回線を全て一齐に呼び出す機能)を使用する場合は、PLUR_SETUP パラメータを設定してください。</p> <p>※端末管理システムにて電話番号設定が必要です。</p>
	<p>ON</p> <p>最初に呼び出す回線が都度入れ替わっていく</p> <p>※端末管理システムの CSV 入力タブの入力フォームに記述されている回線を上から順番に、都度一つずつずらして呼び出します。</p> <p>&lt;入力フォーム例&gt;</p> <p>100,2000001,AUTO,4445,CHK_SID, ! 端末 1 の ch.1 A            100,2000001,AUTO,4446,CHK_SID, ! 端末 1 の ch.2 B            100,2000002,AUTO,4445,CHK_SID, ! 端末 2 の ch.1 C</p> <p>呼び出し順</p> <p>1 回目 : A から呼び出す(話中であれば B→C)            2 回目 : B から呼び出す(話中であれば C→A)            3 回目 : C から呼び出す(話中であれば A→B)</p>
	<p>OFF</p> <p>最初に呼び出す回線はいつも同じ</p> <p>※端末管理システムの CSV 入力タブの入力フォームに記述されている一番上の回線をいつも最初に呼び出します。</p>
設定可能値	ON、OFF
記述例	CIRT ON (代表電話番号の未使用回線呼び出し機能で最初に呼び出す回線を都度入れ替える)
出荷時設定	ON
備考	CSV 入力タブの入力フォームに記述されている回線の順番は登録順です。 変更したい場合は直接書き換えてください。入力フォームで順番を変更しても、LANdeVOICE 端末情報タブや状態確認タブでの表示順には影響しません。

## システム設定ファイルパラメータ

CODER	
対応機種	OD402※、PB402※、PT402※、SP401 ※2 回線端末
説明	音声圧縮方式(コーデック)を設定します。
	1 G.711 : 64kbps 圧縮 ※本設定にするとデータは大きくなりますが、音は良質です。 ※KA02、LA01 と通信する場合は、本設定にしてください。
	16 G.723.1 : 6.3kbps 圧縮 ※CT_SET と併用可能です。CT_SET の自動応答前に、接点入力のショートで応答できます。
	17 G.729A : 8kbps 圧縮
設定可能値	1、16、17
記述例	CODER 1 (音声圧縮方式(コーデック)を G.711(64kbps 圧縮)にする)
出荷時設定	1
備考	※2 回線端末は、回線ごと(ch.1 と ch.2)に異なる値を設定できません。 ※通信相手の LANdeVOICE 端末の CODER は、基本的に同じ設定にしてください。 設定が異なる場合、圧縮率の高いコーデックに自動的に合わせます。 例)発信側 17、着信側 16 で設定した場合、発信側も 16 になる

CT_DELAY	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	放送機器に接続する場合等、放送機器の起動時間分、放送の開始を遅延させることで、放送の頭切れを防ぐことができます。 本パラメータで、放送開始遅延時間(ミリ秒)を設定します。CT_SET で放送開始音の再生を設定している場合は、放送開始音の再生が遅延します。
設定可能値	0~10000 の整数
記述例	CT_DELAY 1000 (放送開始を 1 秒遅延させる)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

CTRING	
対応機種	PT402
説明	<p>PT402 のアナログ回線からの呼出信号の判定方法を設定します。 アナログ回線からの呼出信号及びナンバーディスプレイの使用状況に合わせて本設定を行ってください。</p> <p>&lt;呼出信号&gt; NTT パターン : IR 信号 1 秒鳴動、2 秒休みの繰り返し(公衆網からの呼出信号等) NTT パターン以外 : SIR 信号 0.25 秒鳴動、0.25 秒休みの繰り返し(PBX 単独電話回線からの呼出信号等)</p>
	<p>2~5 (回)</p> <p>アナログ回線からの呼出信号が NTT パターンの場合に設定 呼出信号判定までの鳴動回数を指定する ※ナンバーディスプレイの使用、不使用によりません。</p>
	<p>1</p> <p>アナログ回線からの呼出信号が NTT パターン以外で、かつナンバーディスプレイ使用時に設定 ※本設定でうまくいかない場合は、設定値-1 を試してください。</p>
	<p>0</p> <p>アナログ回線からの呼出信号が NTT パターン以外で、かつナンバーディスプレイ未使用時に設定</p>
	<p>-1</p> <p>アナログ回線からの呼出信号が NTT パターン以外で、かつナンバーディスプレイ使用時に設定 ※設定値 1 でうまくいかない場合に試してください。</p>
設定可能値	-1~5 の整数
記述例	CTRING 0 (PT402 のアナログ回線からの呼出信号は NTT パターン以外で、かつナンバーディスプレイ未使用)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

CT_SET		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	<p>放送開始時(着信時)、放送開始音の再生が可能です。 本パラメータで、着信から自動応答するまでの、内蔵リングバックトーンを再生する時間(秒)、もしくは WAV ファイル(ct.wav)を再生する回数の設定をします。 設定に従って再生した後は自動応答で通話状態になります。</p> <p>※1 つ目に記述した設定値が着信時に内蔵リングバックトーンを再生する時間、2 つ目に記述した設定値が WAV ファイル(ct.wav)を再生する回数となります。</p>	
	着信時に内蔵リングバックトーンを再生する時間を設定する(1 つ目に記述する設定値)	
	-1	<p>自動応答せずに、手動で応答するまで内蔵リングバックトーンを再生し続ける</p> <p>※WAV ファイルの再生回数を、省略もしくは 0 にしてください。</p> <p>※CIN_SETUP もしくは TALK_SETUP を、1・2・3 のいずれかに設定して、手動で応答します。</p>
	0	<p>着信時に内蔵リングバックトーンを再生しない</p> <p>※WAV ファイルを再生したい場合は、こちらの設定にしてください。</p> <p>※WAV ファイルを再生する回数を 0 に設定した場合は、何も再生せずに即自動応答です。</p>
	1~60 (秒)	<p>着信時に内蔵リングバックトーンを再生する時間(秒)</p> <p>※本設定を指定する場合は、WAV ファイルを再生する回数は省略もしくは 0 にしてください。</p>
	着信時に WAV ファイルを再生する回数を設定する(2 つ目に記述する設定値)	
	-1	<p>自動応答せずに、手動で応答するまで WAV ファイル(ct.wav)を再生し続ける</p> <p>※内蔵リングバックトーンの再生時間も-1 に設定してください。</p> <p>※CIN_SETUP もしくは TALK_SETUP を、1・2・3 のいずれかに設定して、手動で応答します。</p> <p>※WAV ファイル(ct.wav)を削除した場合、本設定は無効になります。</p>
	省略、0	<p>着信時に WAV ファイル(ct.wav)を再生しない</p> <p>※内蔵リングバックトーンを再生したい場合は、こちらの設定にしてください。</p> <p>※内蔵リングバックトーンの再生時間を 0 にした場合は、何も再生せずに即自動応答です。</p>
	1~30 (回)	<p>着信時に WAV ファイル(ct.wav)を再生する回数</p>

次ページに続く



## システム設定ファイルパラメータ

		<p>※本設定で指定する場合は、内蔵リングバックトーンを再生する時間は0にしてください。</p> <p>※WAV ファイル(ct.wav)を削除した場合、本設定は無効になります。</p>
設定可能値	再生時間	-1~60 の整数
	再生回数	省略もしくは-1~30 の整数
記述例	CT_SET	<p>着信時に内蔵リングバックトーンを再生する時間 着信時に WAV ファイルを再生する回数</p> <p>CT_SET 0 (着信時に何も再生せずに即自動応答)</p> <p>CT_SET 3 (着信時に内蔵リングバックトーンを3秒再生して自動応答)</p> <p>CT_SET -1 (着信時自動応答せずに、手動で応答するまで内蔵リングバックトーンを再生し続ける)</p> <p>CT_SET -1 -1 (着信時自動応答せずに、手動で応答するまで WAV ファイル(ct.wav)を再生し続ける)</p>
出荷時設定	0 1	<p>(着信時に WAV ファイル(ct.wav)を1回再生して自動応答)</p> <p>※工場出荷時の ct.wav は「ピンポンパンポン(上がる)」</p>
備考		<p>WAV ファイルを作成する場合は下記条件となります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名 : ct.wav</li> <li>● 形式 : 8KHz、μlaw</li> <li>● サイズ : 端末1台にインストールできる WAV ファイルは合計4MBまで</li> </ul> <p>放送機器が起動する時間分、放送を遅延させることが可能です (CT_DELAY)。</p>
関連パラメータ		CIN_SETUP、TALK_SETUP

## システム設定ファイルパラメータ

DELIM	
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402
説明	<p>発信番号入力時に、「#(シャープ)」を入力を終了(デリミタ)として扱うかどうかを設定します。</p> <p>通常は発信番号入力時に 3.5 秒間次の入力がないければ、入力終了と判断し発信を行います。</p> <p>番号入力終了時に 3.5 秒間待たずに即発信したい場合は本設定を行ってください。</p>
	<p>ON 「#(シャープ)」を入力を終了(デリミタ)として扱う</p> <p>※電話番号が「#(シャープ)」から始まる場合は、途中で「#(シャープ)」が入力されてもデリミタとしません。</p>
	<p>OFF 「#(シャープ)」を入力を終了(デリミタ)として扱わない</p>
設定可能値	ON、OFF
記述例	DELIM ON (「#(シャープ)」を入力を終了(デリミタ)として扱う)
出荷時設定	ON

DEBTCT	
対応機種	PT402
説明	<p>TA 等、公衆回線ポートに接続された機器の仕様によって、終話時に極性反転しない場合、PT402 が終話と判定するためのビジートーン検出回数を設定します。</p>
	<p>0 終話判定のためのビジートーン検出を行わない</p> <p>※場合によっては終話判定ができなくなり、通話状態をいつまでも保持する「持ちきり状態」になってしまう可能性があります。その場合には PT402 を再起動してください。</p>
	<p>1~30 (回) 終話判定のためのビジートーン検出回数</p> <p>※一斉放送を行っている場合、放送にビジートーンが流れる可能性がありますので、予めご了承ください。</p> <p>※ビジートーンが設定した値より多く聞こえる場合があります。</p>
設定可能値	0~30 の整数
記述例	DEBTCT 5 (ビジートーン 5 回で終話と判定する)
出荷時設定	5

## システム設定ファイルパラメータ

DIALSELECT	
対応機種	OD402、PT402
説明	PBX(交換機)やTA等、アナログ回線への送出選択信号種別を指定します。 PBX(交換機)・TA等の設定に合わせて、本パラメータを設定してください。
	0 PB(DTMF)信号
	1 DP信号 10pps
	2 DP信号 20pps
設定可能値	0、1、2
記述例	DIALSELECT 0 (アナログ回線への送出選択信号種別はPB(DTMF)信号)
出荷時設定	0

DIDMODE	
対応機種	PB402
説明	電話ポートに接続された機器への呼出し方法を設定します。 接続する機器に合わせて本パラメータを設定してください。
	0 通常呼出モード(アナログ電話機接続等)
	1 簡易 DID モード(電話交換機接続等)
	2 NTTダイヤルインモード(電話交換機接続等)
	3 ナンバーディスプレイモード(ナンバーディスプレイ対応電話機等) ※ナンバーディスプレイモードとして使用する場合は、呼制御サーバが必要です。
設定可能値	0、1、2、3
記述例	DIDMODE 0 (電話ポートに接続された機器を通常呼出モードで呼び出す)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

DIDPAUSE	
対応機種	OD402
説明	IP 回線から着信し、アナログ回線へ DID 発信する際の遅延時間を設定します。 遅延時間は、発信先 PBX(交換機)からのウインクパルスを検出してから、OD402 が DID 発信するまでの時間(ミリ秒)で設定します。 PBX(交換機)の仕様に合わせて、本パラメータを設定してください。
設定可能値	1~3000 の整数
記述例	DIDPAUSE 200 (ウインクパルス検出から 200 ミリ秒後に DID 発信する)
出荷時設定	200

DTMF_TOUT	
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP
説明	通話中に DTMF 信号を受信した際の、信号受信終了タイマーを設定します。
	-1 DTMF 制御無効
	0 信号受信終了タイマーなし ※発信元では「*」で入力を開始(入力待ち音「プ、プ、プ」が聞こえる)、「#」で入力を終了します。
1~10 (秒) タイムアウト時間(信号受信開始後、最後の入力から何秒次の入力が必要なければ終了と判断するか) ※発信元では「*」及び「#」を使用せずに入力できます(入力待ち音「プ、プ、プ」は聞こえない)。	
設定可能値	-1~10 の整数
記述例	DTMT_TOUT 3 (DTMF 信号受信開始後、最後の入力から 3 秒間次の入力が必要なければ信号受信終了と判断する)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

DTTO	
対応機種	PT402
説明	<p>アナログ回線からのダイヤルトーンが検出できない場合に、アナログ回線へ番号の自動送出を開始するまでの時間(秒)を設定します。</p> <p>※ダイヤルトーンが検出できない場合でも、ある程度時間が経ったら番号を自動送出するようになっています</p> <p>※公衆回線に接続する場合は、3(秒)以上の値を設定してください(省令により定められています)。</p>
設定可能値	0～10 の整数
記述例	DTTO 3 (ダイヤルトーンが検出できない場合、3 秒後に番号の自動送出を開始する)
出荷時設定	3

ECE					
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP				
説明	エコーキャンセラの有無を設定します。				
	<table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td> <p>エコーキャンセラ有効</p> <p>※PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP について、通常は ON でご使用ください。</p> </td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td> <p>エコーキャンセラ無効</p> <p>※OD402 について、通常は OFF でご使用ください。</p> </td> </tr> </table>	ON	<p>エコーキャンセラ有効</p> <p>※PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP について、通常は ON でご使用ください。</p>	OFF	<p>エコーキャンセラ無効</p> <p>※OD402 について、通常は OFF でご使用ください。</p>
ON	<p>エコーキャンセラ有効</p> <p>※PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP について、通常は ON でご使用ください。</p>				
OFF	<p>エコーキャンセラ無効</p> <p>※OD402 について、通常は OFF でご使用ください。</p>				
設定可能値	ON、OFF				
記述例	ECE ON (ダイヤルトーンが検出できない場合、3 秒後に番号の自動送出を開始する)				
出荷時設定	<table border="1"> <tr> <td>PB402 PB402-SIP PT402 SP401 SP401-SIP</td> <td>ON</td> </tr> <tr> <td>OD402</td> <td>OFF</td> </tr> </table>	PB402 PB402-SIP PT402 SP401 SP401-SIP	ON	OD402	OFF
	PB402 PB402-SIP PT402 SP401 SP401-SIP	ON			
OD402	OFF				

## システム設定ファイルパラメータ

EMSGID	
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP
説明	アクション設定ファイルで使用をされる「TID(Terminal ID)」の値を設定します。 「TID」とは端末固有の ID のことです。
設定可能値	半角英数字 15 文字まで
記述例	EMSGID OD402 (「TID」は「OD402」)
出荷時設定	各機種の機種名

HOLD_MODE	
対応機種	SP401-SIP
説明	保留時の動作モードを設定します。
	0 IP 回線からの受信音を再生
	1 内部の WAV ファイル (hold.wav) を再生 ※hold.wav は別途インストールする必要があります。
設定可能値	0、1
記述例	HOLD_MODE 0 (保留時に IP 回線からの受信音を再生する)
出荷時設定	0
備考	WAV ファイルを作成する場合は下記条件となります <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名 : hold.wav</li> <li>● 形式 : 8KHz、μlaw</li> <li>● サイズ : 端末 1 台にインストールできる WAV ファイルは合計 4MB まで</li> </ul>

## システム設定ファイルパラメータ

INPUT_TYPE		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	L.IN / MIC の音声入力種別を設定します。 接続機器の種別や仕様に従って、必ず適切な設定を行って下さい。 誤った設定は故障の原因となりますのでご注意ください。 ※「マイク給電」とはファンタム電源のことです。 ※一般的にコンデンサマイクは給電が必要なものが多く、ダイナミックマイクは給電が不要なものが多いですが、念のため接続するマイクの仕様を確認した上で設定してください。 ※設定に際して、以下「L.IN / MIC」コネクタの仕様も合わせて参照してください。	
	0	LINE 入力(マイク給電 OFF)
	1	ページングマイク(LdV-PM660W) (マイク給電 ON)
	2	コンデンサマイク(マイク給電 OFF)
	3	コンデンサマイク(マイク給電 ON)
	4	ダイナミックマイク(マイク給電 OFF)
	5	ダイナミックマイク(マイク給電 ON)
	設定可能値	0、1、2、3、4、5
記述例	INPUT_TYPE 0 (L.IN / MIC の音声入力種別は LINE 入力(マイク給電 OFF))	
出荷時設定	0	
「L.IN / MIC」コネクタの仕様		
入力端子	3.5φ ミニジャック(3 極)	
入力レベル	LINE 入力公称定格: 約 0dBm 相当	
入力方式	3 方式切替(LINE 入力、コンデンサマイク、ダイナミックマイク)、非平衡(非絶縁)	
内部回路抜粋	<p>内部回路抜粋</p> <p>（内部基準電位）</p> <p>次ページに続く</p>	

## システム設定ファイルパラメータ

備考	<p>【入力アンプのゲイン(増幅)やアッテネータ(減衰)】</p> <p>LINE 入力: ゲインやアッテネータはない(増幅率 0dB)          コンデンサマイク: 増幅率 24dB          ダイナミックマイク: 増幅率 43dB</p> <p>※全て代表値です。</p>
----	--

LEASELINE									
対応機種	OD402、PB402								
説明	<p>専用線モードの設定を行います。            AUTODIAL1、2 で設定した発信先と、常時接続状態にすることができます。</p> <p>【発信側端末で使用する場合の設定】            本パラメータと AUTODIAL1 または AUTODIAL2 を設定</p> <p>【受信側端末で使用する場合の設定】            本パラメータの設定</p> <p>※OD402 は OD トランク接続モデルとの間でのみ専用線モードで使用できます。            専用線モード+NONSTOP モードの場合はこの限りではありません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td>専用線モードを使用しない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>ch.1 のみ専用線モードに設定する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ch.2 のみ専用線モードに設定する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>ch.1 と ch.2 の両チャンネルを専用線モードに設定する</td> </tr> </table>	0	専用線モードを使用しない	1	ch.1 のみ専用線モードに設定する	2	ch.2 のみ専用線モードに設定する	3	ch.1 と ch.2 の両チャンネルを専用線モードに設定する
0	専用線モードを使用しない								
1	ch.1 のみ専用線モードに設定する								
2	ch.2 のみ専用線モードに設定する								
3	ch.1 と ch.2 の両チャンネルを専用線モードに設定する								
設定可能値	0、1、2、3								
記述例	LEASELINE 0 (専用線モードを使用しない)								
出荷時設定	0								
発信条件 (発信側端末)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">PB402</td> <td>起動後初めてのオフフック時</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OD402</td> <td>起動時</td> </tr> </table>	PB402	起動後初めてのオフフック時	OD402	起動時				
PB402	起動後初めてのオフフック時								
OD402	起動時								
関連パラメータ (発信側端末)	AUTODIAL1、AUTODIAL2								



## システム設定ファイルパラメータ

LEVEL_MODE		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	LEVEL LED(音量レベル LED)に連動させるポートを設定します。	
	0	L.OUT の音量レベルに連動して、LEVEL LED 色に変化 ※接点制御でDTMF 設定をする場合(action.ini の設定)は、本設定にしてください。
	1	L.IN / MIC の音量レベルに連動して、LEVEL LED 色に変化
設定可能値	0、1	
記述例	LEVEL_MODE 1 (L.IN / MIC の音量レベルに連動して、LEVEL LED 色に変化する)	
出荷時設定	1	
LEVEL LED 色	音量の目安 (dBm)	LED 色
	0 以上	赤点灯
	-1 ~ -10	橙点灯
	-11 ~ -30	緑点灯(最適)
	-31 以下	消灯
関連パラメータ	action.ini の DTMF パラメータ	

## システム設定ファイルパラメータ

LLTCH		
対応機種	OD402	
説明	NONSTOP モードの設定を行います。 専用線モード (LEASELINE) で使用する際、4 線式アンブとの接続等、OD 回線をオフフックできない環境で設定します。	
	NONSTOP	NONSTOP モードに設定する  【発信側端末で使用する場合の設定】 本設定と LEASELINE、AUTODIAL1 または AUTODIAL2 を設定  【受信側端末で使用する場合の設定】 本設定と LEASELINE の設定  ※本設定は LEASELINE 設定時にのみ有効です。
	OFF	NONSTOP モードを使用しない
設定可能値	NONSTOP、OFF	
記述例	LLTCH OFF (NONSTOP モードを使用しない)	
出荷時設定	OFF	
関連パラメータ	発信側端末	AOUTODIAL1、AUTODIAL2、LEASELINE
	受信側端末	LEASELINE

MCH_IP		
対応機種	SP401	
説明	マルチキャスト IP アドレスを設定します。 マルチキャスト一斉同報サーバの syscnfg.ini に記載している MCH_IP と同じ値を設定してください。	
	【参考】マルチキャスト一斉同報サーバの MCH_IP 出荷時設定	
	MTSV-a	224.129.65.33
	MTSV	224.129.64.33
設定可能値	IPv4 アドレス	
記述例	MCH_IP 224.129.65.33 (マルチキャスト IP アドレスは 224.129.65.33)	
出荷時設定	224.129.65.33	
関連パラメータ	マルチキャスト一斉同報サーバの MCH_IP	

## システム設定ファイルパラメータ

MCH_PORT	
対応機種	SP401
説明	マルチキャスト放送時に使用する呼制御のポート番号を設定します。 マルチキャスト一斉同報サーバの syscnfg.ini に記載している MCH_PORT と同じ値を設定してください。
	0      マルチキャスト無効(放送を受信しない)
	1~65535      ポート番号
設定可能値	0~65535 の整数
記述例	MCH_PORT 5000 (マルチキャスト放送時に使用する呼制御のポート番号は 5000)
出荷時設定	0

MCS_TYPE	
対応機種	SP401
説明	マルチキャスト一斉同報サーバの種別を設定します。 使用するマルチキャスト一斉同報サーバを設定してください。
	0      MTSV-a
	1      MTSV
設定可能値	0、1
記述例	MCS_TYPE 0 (使用するマルチキャスト一斉同報サーバは MTSV-a)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

MIN_SE	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	<p>通話相手から通知される Session-Expires に対する許容値(秒)を設定します。この値を下回る Session-Expires の値を受信した場合、エラーを返します。</p> <p>Session-Expires は、通話中に何らかの原因でネットワークが切断された場合に、自動的に通話を終了するまでの時間です。</p> <p>※PB402-SIP で「Arcstar Smart PBX」「ひかりクラウド PBX」に接続する場合は 90 に設定してください。</p> <p>※PB402-SIP の場合、ch.1、2 共通の設定となります。</p>
設定可能値	90～86400 の整数
記述例	MIN_SE 300 (通話相手から提案される Session-Expires に対する許容値は 300 秒以上)
出荷時設定	300

PHONE1		
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP	
説明	<p>設定した端末自身の電話番号を設定します。SIP サーバへ通知する電話番号です。設定しないと通話できません。</p> <p>※PB402-SIP の場合は、ch.1 の電話番号設定です。</p>	
設定可能値	半角英数字 32 桁まで	
記述例	PHONE1 1937241 (端末自身(PB402-SIP は ch.1)の電話番号は 1937241)	
出荷時設定	PB402-SIP	1937241
	SP401-SIP	100

PHONE2	
対応機種	PB402-SIP
説明	<p>設定した端末自身の ch.2 の電話番号を設定します。SIP サーバへ通知する電話番号です。設定しないと通話できません。</p>
設定可能値	半角英数字 32 桁まで
記述例	PHONE2 1937242 (端末自身の ch.2 の電話番号は 1937242)
出荷時設定	1937242

## システム設定ファイルパラメータ

PLUR_SETUP	
対応機種	CCS401
説明	<p>代表電話番号の一斉呼び出し機能を設定します。</p> <p>設定された電話番号で呼び出しがあった場合、その番号で登録された宛先に一斉に着信させます。</p> <p>※端末管理システムにて電話番号設定が必要です。一斉呼び出ししたい宛先は同じ電話番号を設定してください。</p>
設定可能値	電話番号 23 桁まで (0~9 が使用可能)
登録可能数	最大 20 グループ (1 グループ最大 10 件)
記述例	<p>PLUR_SETUP 200 300 400            PLUR_SETUP 500            (電話番号 200、300、400、500 は、その番号で登録された宛先に一斉に着信させる)</p> <p>※1 行に複数の電話番号を記述することも、複数行に分けて記述することも可能です。</p>
出荷時設定	未設定

PORTGROUP				
対応機種	OD402、PB402、PT402			
説明	<p>グループ着信を設定します。</p> <p>グループ着信を有効にした端末の ch.1、ch.2 は、同じ電話番号で(空いている回線を)呼び出すことができます。</p>			
	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">ON</td> <td> <p>グループ着信有効</p> <p>【発信側端末の phone.ini の設定】                ch.1(のポート番号)のみを設定します。                例) 100 192.168.1.24:4445                上記を設定し、電話番号 100 で発信すると、192.168.1.24 の空いている ch.1(ポート 4445)もしくは ch.2(ポート 4446)に着信します。</p> <p>※ch.1 及び ch.2 へ同時に着信させたい場合、別端末もグループ着信させたい場合は、呼制御サーバが必要になります。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">OFF</td> <td> <p>グループ着信無効(ch.1、ch.2 それぞれ個別の番号で着信)</p> </td> </tr> </table>	ON	<p>グループ着信有効</p> <p>【発信側端末の phone.ini の設定】                ch.1(のポート番号)のみを設定します。                例) 100 192.168.1.24:4445                上記を設定し、電話番号 100 で発信すると、192.168.1.24 の空いている ch.1(ポート 4445)もしくは ch.2(ポート 4446)に着信します。</p> <p>※ch.1 及び ch.2 へ同時に着信させたい場合、別端末もグループ着信させたい場合は、呼制御サーバが必要になります。</p>	OFF
ON	<p>グループ着信有効</p> <p>【発信側端末の phone.ini の設定】                ch.1(のポート番号)のみを設定します。                例) 100 192.168.1.24:4445                上記を設定し、電話番号 100 で発信すると、192.168.1.24 の空いている ch.1(ポート 4445)もしくは ch.2(ポート 4446)に着信します。</p> <p>※ch.1 及び ch.2 へ同時に着信させたい場合、別端末もグループ着信させたい場合は、呼制御サーバが必要になります。</p>			
OFF	<p>グループ着信無効(ch.1、ch.2 それぞれ個別の番号で着信)</p>			
設定可能値	ON、OFF			
記述例	<p>PORTGROUP OFF            (グループ着信は無効)</p>			
出荷時設定	OFF			

## システム設定ファイルパラメータ

PROXY1	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	REGISTER リクエスト以外の SIP メッセージを送信するプロキシサーバの IP アドレスを設定します。
設定可能値	IPv4 アドレス
記述例	PROXY1 192.168.1.5 (プロキシサーバの IP アドレスは 192.168.1.5)
出荷時設定	192.168.1.5

PROXY1_PORT	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	REGISTER リクエスト以外の SIP メッセージを送信するプロキシサーバのポート番号を設定します。
設定可能値	1~65535 の整数
記述例	PROXY1_PORT 5060 (プロキシサーバのポート番号は 5060)
出荷時設定	5060

RB_TIMER	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	発信先の応答がない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間(秒)を設定します。 ※PB402-SIP の場合、ch.1、2 共通の設定となります。
設定可能値	1~86400 の整数
記述例	RB_TIMER 120 (発信先の応答がない場合に待機状態に戻るまでのタイムアウト時間は 120 秒)
出荷時設定	120

## システム設定ファイルパラメータ

RCTTONE	
対応機種	OD402、PT402
説明	アナログ回線からの着信時に、選択信号を受け付けていることを示す音を設定します。
	0 無音
	1 ダイヤルトーン
	2 セカンドダイヤルトーン(400Hz のツツツツ音)
設定可能値	0、1、2
記述例	RCTTONE 2 (アナログ回線からの着信時に、選択信号を受け付けていることを示す音は、セカンドダイヤルトーン)
出荷時設定	2

REGI_EXPIRES	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	レジストラサーバ登録の有効期限(秒)(REGISTER リクエストに含まれる Expires の値)を設定します。 ※PB402-SIP の場合、ch.1、2 共通の設定となります。
設定可能値	120～86400 の整数
記述例	REGI_EXPIRES 3600 (Expires の値は 3600(秒))
出荷時設定	3600

REGI_RETRY	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	REGISTER リクエストがタイムアウトして失敗した場合、次の REGISTER リクエストを送信するまでの時間(秒)を設定します。 ※PB402-SIP の場合、ch.1、2 共通の設定となります。
設定可能値	120～86400 の整数
記述例	REGI_RETRY 120 (REGISTER リクエストがタイムアウトしたら、120 秒後に再送)
出荷時設定	120

## システム設定ファイルパラメータ

REGISTER1	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	REGISTER リクエストを送信するレジストラサーバの IP アドレスを設定します。
設定可能値	IPv4 アドレス
記述例	REGISTER1 192.168.1.5 (レジストラサーバの IP アドレスは 192.168.1.5)
出荷時設定	192.168.1.5

REGISTER1_PORT	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	REGISTER リクエストを送信するレジストラサーバのポート番号を設定します。
設定可能値	1～65535 の整数
記述例	REGISTER1_PORT 5060 (レジストラサーバのポート番号は 5060)
出荷時設定	5060

RG_TIMER	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	着信時にオフフックしない場合に、(相手が発信し続けていても)待機状態に戻すまでのタイムアウト時間(秒)を設定します。
設定可能値	1～86400 の整数
記述例	RG_TIMER 120 (着信時にオフフックしなければ、120 秒で待機状態に戻す)
出荷時設定	120

RTP_PORT	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	音声パケット(RTP パケット)のポート番号を設定します。 設定値から偶数値で計 16 ポートが使用されます。
設定可能値	2～65534 の偶数値
記述例	RTP_PORT 40000 (音声パケットのポート番号は、40000～40030 の偶数値 計 16 ポート)
出荷時設定	40000



## システム設定ファイルパラメータ

RTY_SETUP		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	<p>発信先が話中(ビジー)だった場合の再発信の回数とその間隔を設定します。</p> <p>※1 つ目に記述した設定値が再発信回数、2 つ目に記述した設定値が再発信間隔、3 つ目に記述した設定値が、再発信回数を-1 に設定した場合の繰り返し回数(オプション値)となります。</p> <p>※再発信が行われる際は rbtc.wav が再生されます。</p> <p>※rbtc.wav は別途インストールする必要があります。</p>	
	再発信回数を設定する(1 つ目に記述する設定値)	
	-1	AUTO_DIAL、CIN_DIAL、TALK_DIAL(いずれになるかは発信方法による)の設定件数分再発信する ※3 つ目に記述するオプション値にて、何巡させるか設定できます。
	0	再発信しない(rbtc.wav の再生も行わない)
	1~100 (回)	再発信回数
	再発信間隔を設定する(2 つ目に記述する設定値)	
	0~3600 (秒)	再発信間隔(秒)
	再発信回数を-1 に設定した場合の繰り返し回数(3 つ目に記述するオプション値)	
	-1	無限に繰り返す
	省略、0、1	一巡のみ
	2~100 (巡)	繰り返し回数
	設定可能値	再発信回数 : -1~100 の整数
再発信間隔 : 0~3600 の整数		
再発信回数を-1 に設定した場合の繰り返し回数 : -1~100 の整数		
記述例	<p>RTY_SETUP 再発信回数 再発信間隔 再発信回数を-1 に設定した場合の繰り返し回数</p> <p>RTY_SETUP 3 15 (発信先が話中だった場合、15 秒間隔で 3 回再発信する)</p> <p>RTY_SETUP -1 15 3 (発信先が話中だった場合、15 秒間隔で AUTO_DIAL、CIN_DIAL、TALK_DIAL(いずれになるかは発信方法による)の設定件数分を 3 巡再発信する)</p>	
	次ページに続く	

## システム設定ファイルパラメータ

出荷時設定	0 0 (発信先が話中だった場合、再発信しない) ※発信先 LANdeVOICE が公衆回線に接続されている場合は、出荷時設定から変更しないでください(省令により規制されています)。
備考	WAV ファイルを作成する場合は下記条件となります <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名 : rbtc.wav</li> <li>● 形式 : 8KHz、μaw</li> <li>● サイズ : 端末 1 台にインストールできる WAV ファイルは合計 4MB まで</li> </ul>
関連パラメータ	AUTO_DIAL、CIN_DIAL、TALK_DIAL

RVS_BT	
対応機種	PB402、PB402-SIP
説明	着信側の終話時に、転極パルスを送出する設定をします。
	ON 転極パルスを送出する ※通常は本設定でご使用ください。
	OFF 転極パルスを送出しない
設定可能値	ON、OFF
記述例	RVS_BT ON (着信側の終話時に、転極パルスを送出する)
出荷時設定	ON

RVS_CON	
対応機種	PB402、P402-SIP
説明	発信側の通話時に、極性反転を行う設定をします。
	ON 極性反転を行う ※通常は本設定でご使用ください。
	OFF 極性反転を行わない
設定可能値	ON、OFF
記述例	RVS_CON ON (発信側の通話時に、極性反転を行う)
出荷時設定	ON

## システム設定ファイルパラメータ

RVS_PW	
対応機種	PB402、PB402-SIP
説明	着信側の終話時に送出する転極パルス幅(ミリ秒)を設定します。 転極パルスを送出する設定(RVS_BT)にしている場合に有効になります。
設定可能値	400～800 の整数
記述例	RVS_PW 750 (着信側の終話時に送出する転極パルス幅は 750 ミリ秒)
出荷時設定	750
関連パラメータ	RVS_BT

SCE				
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402、SP401、SP401-SIP			
説明	無音圧縮の有無を設定します。 会話と会話の間の無音時に、パケット送出を停止する設定です。			
	<table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>無音圧縮有効 ※やむを得ず使用帯域を削減したい場合にのみ設定してください。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>無音圧縮無効 ※通常は本設定にしてください。</td> </tr> </table>	ON	無音圧縮有効 ※やむを得ず使用帯域を削減したい場合にのみ設定してください。	OFF
ON	無音圧縮有効 ※やむを得ず使用帯域を削減したい場合にのみ設定してください。			
OFF	無音圧縮無効 ※通常は本設定にしてください。			
設定可能値	ON、OFF			
記述例	SCE OFF (会話と会話の間の無音時に、パケット送出を停止しない)			
出荷時設定	OFF			

## システム設定ファイルパラメータ

SE_EXPIRES	
対応機種	PB402-SIP、SP401-SIP
説明	<p>通話相手へ伝える Session-Expires の時間(秒)を設定します。</p> <p>Session-Expires は、通話中に何らかの原因でネットワークが切断された場合に、自動的に通話を終了するまでの時間です。</p> <p>ここで設定した値以上の時間、通信が途切れた場合、SP401-SIP は自動的に通話を終了します。</p> <p>※本パラメータで設定した Session-Expires の値は INVITE リクエストに含んで通知されます。</p>
設定可能値	90～86400 の整数
記述例	SE_EXPIRES 300 (通話相手に Session-Expires は 300 秒と伝える)
出荷時設定	300

SERVER	
対応機種	OD402、PB402、PT402、SP401
説明	<p>プライマリ呼制御サーバの IP アドレスを設定します。</p> <p>呼制御サーバで電話番号を一括管理する場合に設定してください。</p> <p>電話番号設定ファイル(phone.ini)に電話番号が設定されていない場合、本パラメータに設定された IP アドレス(呼制御サーバ)へ問い合わせをします。</p> <p>本パラメータに IP アドレスが指定されていない場合、SERVER2 が設定されていれば、その IP アドレス(セカンダリ呼制御サーバ)へ問い合わせをします。</p>
設定可能値	IPv4 アドレス
記述例	SERVER 192.168.1.20 (プライマリ呼制御サーバの IP アドレスは 192.168.1.20)
出荷時設定	未設定
関連ファイル	電話番号設定ファイル(phone.ini)

## システム設定ファイルパラメータ

SERVER2	
対応機種	OD402、PB402、PT402、SP401
説明	セカンダリ呼制御サーバの IP アドレスを設定します。 呼制御サーバが 2 台ある時に設定してください。  電話番号設定ファイル (phone.ini) に電話番号が設定されていない場合、プライマリ呼制御サーバ (SERVER)、セカンダリ呼制御サーバ (SERVER2) の順番で接続し、応答のあった呼制御サーバと通信します。
設定可能値	IPv4 アドレス
記述例	SERVER2 192.168.1.21 (プライマリ呼制御サーバの IP アドレスは 192.168.1.21)
出荷時設定	未設定

SIG_CTRL				
対応機種	SP401			
説明	着信時に通知される番号による音声入出力制御を設定します。			
	<table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>無効</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>           有効   <b>【発信側端末の phone.ini の設定】</b>            発信側端末の電話番号設定ファイル (phone.ini) にて、本設定を行った端末を呼び出す番号に下記の番号を追加する記述を行うことにより、音声入出力制御が行われます。             0 : 全二重            1 : 送信 (音声入力:L.IN/MIC) のみ有効            2 : 受信 (音声出力:L.OUT) のみ有効             例) [100]&lt;1&gt; 192.168.1.20:4445            上記を設定し電話番号 100 で発信すると、着信した際に「1」が通知され、受信側 (本設定を行った端末) の音声入力のみが有効になり、発信側の音声は出力されません。         </td> </tr> </table>	0	無効	1
0	無効			
1	有効  <b>【発信側端末の phone.ini の設定】</b> 発信側端末の電話番号設定ファイル (phone.ini) にて、本設定を行った端末を呼び出す番号に下記の番号を追加する記述を行うことにより、音声入出力制御が行われます。  0 : 全二重 1 : 送信 (音声入力:L.IN/MIC) のみ有効 2 : 受信 (音声出力:L.OUT) のみ有効  例) [100]<1> 192.168.1.20:4445 上記を設定し電話番号 100 で発信すると、着信した際に「1」が通知され、受信側 (本設定を行った端末) の音声入力のみが有効になり、発信側の音声は出力されません。			
設定可能値	0、1			
記述例	SIG_CTRL 0 (着信時に通知される番号による音声入出力制御は無効)			
出荷時設定	0			

## システム設定ファイルパラメータ

TALK_DIAL	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	TALK_SETUP によるページングマイクのプレストークボタン入力発信先電話番号、及び RTY_SETUP の設定に従って再発信する電話番号を設定します。 複数行設定する(5 件まで)ことで、RTY_SETUP 再発信時の発信先を変更することができます。複数行記載した場合は、上に記述した番号から順に再発信します。
設定可能値	電話番号 23 桁まで (0~9、#、* が使用可能)
記述例	TALK_DIAL 100 TALK_DIAL 200 (TALK_SETUP によるページングマイクのプレストークボタン発信で電話番号 100 へ発信、話中等の際は RTY_SETUP の設定に従って電話番号 200 へ再発信)
出荷時設定	未設定
関連パラメータ	TALK_SETUP、RTY_SETUP

TALK_OFFTIME	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	TALK_SETUP を 2(MSIG)に設定している場合において、プレストークボタンを放してから、実際に通話が切断されるまでの猶予時間(秒)を設定します。 猶予時間を設定すると、プレストークボタンを誤って放してしまっても、すぐには切断しません。
設定可能値	0~60 の整数
記述例	TALK_OFFTIME 0 (TALK_SETUP を 2(MSIG)に設定している場合において、プレストークボタンを放してから、実際に通話が切断されるまでの猶予時間は 0 秒)
出荷時設定	0
関連パラメータ	TALK_SETUP

## システム設定ファイルパラメータ

TALK_SETUP		
対応機種	SP401、SP401-SIP	
説明	<p>ページングマイクのプレストークボタンによる発信(応答)・切断の動作モードを設定します。</p> <p>発信先は TALK_DIAL で設定してください。</p> <p>※自動応答(CT_SET)と併用可能です。1~3 の設定の場合は、自動応答前にプレストークボタン押下で応答もできます。プレストークボタンでのみ応答したい場合は、CT-SET を無効(-1)にしてください。</p> <p>※本設定に関わらず、通話相手のオンフック検出時は自動切断します。</p>	
	0	<p>プレストークボタンによる発信(応答)・切断を無効(NONE)</p> <p>※AUTO_SETUP を使用する場合は、本設定にしてください。</p>
	1	<p>プレストークボタンを押下(ON)するたびに発信(応答)、切断を交互に行う(TOGGLE)</p> <p>※通話中にプレストークボタンを2秒以上押下(ON)すると、切断はせずにプレストークボタン本来の機能(押下中はマイク入力が有効、放すと無効)を利用できます。</p>
	2	<p>プレストークボタンを押下(ON)すると発信(応答)、放す(OFF)と切断する(MSIG)</p> <p>※プレストークボタン本来の機能(押下中はマイク入力が有効、放すと無効)は利用できません</p>
	3	<p>プレストークボタンを押下(ON)すると発信(応答)を行う(SWON)</p> <p>※切断はできません。</p>
	4	<p>プレストークボタンを押下(ON)させると切断を行う(HOOK)</p> <p>※発信と応答はできません。</p>
設定可能値	0~4 の整数	
記述例	TALK_SETUP 1 (プレストークボタンを押下(ON)するたびに発信(応答)、切断を交互に行う)	
出荷時設定	0	
関連パラメータ	AUTO_SETUP、CT_SET、TALK_DIAL	

## システム設定ファイルパラメータ

UCS_IP	
対応機種	CCS401
説明	ユニキャスト斉同報サーバ(UCS401)の IP アドレスを設定します。 ※本パラメータを設定しないとユニキャスト斉同報や会議通話を行うことができません。
設定可能値	IPv4 アドレス
記述例	UCS_IP 192.168.1.100 (ユニキャスト斉同報サーバ(UCS401)の IP アドレスは 192.168.1.100)
出荷時設定	未設定

VOL_IN	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	L.IN/MIC の入力レベルを設定します。
	-32      ミュート
	-31~31 (dB)      入力レベル値(dB、相対値)
設定可能値	-32~31 の整数
記述例	VOL_IN 0 (L.IN/MIC の入力レベルは 0dB)
出荷時設定	0
備考	PBSP、PBSP-SIP との音量比較 本パラメータの設定値を以下の値にすることで、PBSP とほぼ同等の音量になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● LINE 入力: 出荷時設定</li> <li>● コンデンサマイク: 5</li> <li>● ページングマイク: 10</li> </ul>



## システム設定ファイルパラメータ

VOL_IN1、VOL_IN2	
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402
説明	ch.1 (VOL_IN1) または ch.2 (VOL_IN2) の入力レベルを設定します。
	-32      ミュート
	-31～31 (dB)      入力レベル値 (dB、相対値)
設定可能値	-32～31 の整数
記述例	VOL_IN1 0 (ch.1 の入力レベルは 0dB)
出荷時設定	0

VOL_OUT	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	L.OUT の出力レベルを設定します。
	-32      ミュート
	-31～31 (dB)      出力レベル値 (dB、相対値)
設定可能値	-32～31 の整数
記述例	VOL_OUT1 0 (L.OUT の出力レベルは 0dB)
出荷時設定	0

VOL_OUT1、VOL_OUT2	
対応機種	OD402、PB402、PB402-SIP、PT402
説明	ch.1 (VOL_OUT1) または ch.2 (VOL_OUT2) の出力レベルを設定します。
	-32      ミュート
	-31～31 (dB)      出力レベル値 (dB、相対値)
設定可能値	-32～31 の整数
記述例	VOL_OUT1 0 (ch.1 の出力レベルは 0dB)
出荷時設定	0

## システム設定ファイルパラメータ

VOL_TONE	
対応機種	SP401、SP401-SIP
説明	ダイヤルトーン、ビジートーン、リングバックトーン等、再生時の出力レベルを設定します。
	-63      ミュート
	-62~0 (dBm)      出力レベル値(dBm、相対値)
設定可能値	-63~0 の整数
記述例	VOL_TONE   -20 (ダイヤルトーン、ビジートーン、リングバックトーン等、再生時の出力レベルは -20dBm)
出荷時設定	-20

WINKPREPAUSE	
対応機種	OD402
説明	OD402 の OD 回線接続時に PBX(交換機)へ送出するウイंकパルスの送出前の遅延時間(ミリ秒)を設定します。
	※OD402 からのウイंकパルス(ESIG)の送出が早すぎると、MSIG と衝突したものであると PBX(交換機)が誤認してしまう場合があります。それを回避するための設定です。
設定可能値	0~1000 の整数
記述例	WINKPREPAUSE   100 (OD402 の OD 回線接続時に PBX(交換機)へ送出するウイंकパルスの送出前の遅延時間は 100 ミリ秒)
出荷時設定	100

## システム設定ファイルパラメータ

WINKPW	
対応機種	OD402
説明	OD402 の OD 回線接続時に PBX(交換機)へ送出するウイंकパルス幅を設定します。 ※PBX(交換機)の仕様に合わせてパルス幅を調整します。 ※設定前に PBX(交換機)の通信方式(「ウイंकスタート方式」あるいは「タイミングスタート(イミディエイトスタート)方式)」を確認してください。
	0      タイミングスタート(イミディエイトスタート)方式
	1~1000 (ミリ秒)      ウイंकパルス幅(ミリ秒)
設定可能値	0~1000 の整数
記述例	WINKPW 200 (OD402 の OD 回線接続時に PBX(交換機)へ送出するウイंकパルス幅は 200 ミリ秒)
出荷時設定	200

WINKTO	
対応機種	OD402
説明	OD402 が OD 回線へ発信する際に、PBX(交換機)から送出されるウイंकパルスの待ち時間(ミリ秒)を設定します。 ※ウイंकスタート方式でウイंकパルスを何らかの原因で受け取れなかった場合、あるいはタイミングスタート(イミディエイトスタート)方式の場合に、指定した時間が経過すると選択信号を送出します。 ※設定前に PBX(交換機)の通信方式(「ウイंकスタート方式」あるいは「タイミングスタート(イミディエイトスタート)方式)」を確認してください。
	設定可能値
記述例	WINKTO 3000 (OD402 が OD 回線へ発信する際に、PBX(交換機)から送出されるウイंकパルスの待ち時間は 3000 ミリ秒)
出荷時設定	3000

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

**株式会社エイツー**

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <http://www.a-2.co.jp/landevoice/>

E-mail : [landevoice@a-2.co.jp](mailto:landevoice@a-2.co.jp)

TEL : 03-5498-7411

受付時間 : 9:30~12:00 13:00~17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>